

【全巻予約者特典】

全巻ご予約・ご購入いただいた方に、
非売品の『小島信夫の世界』(仮)をもれなく進呈いたします。
応募ハガキに必要事項をご記入の上、最寄りの書店で
番線印を押していただき、小社までお送りください。

締切＝2015年10月末日(消印有効)
＊発送は本集成完結前後の頃を予定しています。

小島信夫長篇集成 〈全巻予約申込専用ハガキ〉

太枠内に楷書でご記入の上、最寄りの書店にて書店(番線)印を押していただき、お送りください。
書店様へ：お客様よりお申し込みがあった際には、本状に番線印を押してお客様にお渡しください。

全10巻〔 セット 〕を申し込みます。	
お名前	年齢 歳
ご住所 〒 -	
TEL	
FAX	

—全巻予約者特典—

小島信夫の世界

(仮題、非売品)

申込締切
2015年10月末日(消印有効)

＊発送は本集成完結前後の頃を予定しています

水声社
東京都文京区小石川2-10-1
TEL 03-3818-6040 FAX 03-3818-2437

書店(番線)印

☆お客様の住所・氏名などの個人情報は、
特典を小社からお届けするためにのみ使用し、
そのほかの目的では使用いたしません。

【本集成の特色】

- 生誕百年(二〇一五年)、そして没後十年(二〇一六年)を記念し、
小島信夫の文学的功績をあらためて見直すことを意図した著作集です。
- 著者生前の最後の刊本を底本に、すべての長篇小説を集成するはじめての試み。長らく入手困難であった
作品をふくむ全十五作品を網羅し、小島信夫の小説世界の全貌をあきらかにします。
- 一九五〇年代から晩年にいたるまで、半世紀にわたって書き継がれた作品群をほぼ発表順に配列し、
小島信夫の文学的展開を時系列的に展望しうる構成となっています。
- 各巻に充実した解説を付し、小島文学への理解を深めます。
- 付録月報にはエッセイや作品論を収載。作家の人間像を浮かび上がらせるとともに、
小島文学を多角的にとらえる手がかりにします。
- 末長く愛読するにふさわしい、堅牢な造本と美麗な装幀です(装幀Ⅱ西山孝司)。

刊行予定

二〇一五年六月、第四巻『別れる理由Ⅰ』刊行
以後、毎月一冊ずつ刊行、二〇一六年三月に全巻完結予定

造本・体裁…A5判上製9ポ一段組

予頁…五〇〇／八〇〇頁

予価…七〇〇〇／一〇〇〇〇円＋税

水声社

東京都文京区小石川2-10-1
TEL 03-3818-6040 FAX 03-3818-2437
URL <http://www.suiseisha.net>

小島信夫 長篇集成

全10巻

水声社

愛の影絵として——『小島信夫長篇集成』のために

一つの屋根の下に暮らすあのひとたちが家族であるとは限らない。一つの部屋にくつろぐあの二人が夫婦であるとは限らない。

だが、ああしている限りあのひとたちは家族のようなものだ、あの二人は夫婦みたいなものだ。人間は孤独な天体なのだ。万有引力の圏域にぼつりと置かれた孤独。だから、ああしている限り引き合うほかはない。引かれ合うほかはない。家族でなくても夫婦でなくても。

万有のなかにあつて万有の法則を免れることはできない。そのなかで孤独のうちに壊滅して行く点としての人間、それが家族を営むという。夫婦になるという。恋の契りすら結ぶという。子供ができれば川の字になって寝るのだという。たわむれにするのではない。謎というほかはない。

小島信夫は一貫してこの謎を解明しようとしてきた作家だ。だが、この謎は世間では愛と呼ばれているのではなく、それは巨大な影絵となる。方法の文学と呼ばれるゆえんだ。それも愛の壊滅を描く愛の文学。愛の痕跡を描くのだ。それ

は巨大な影絵となる。方法の文学と呼ばれるゆえんだ。それも愛の壊滅を描く愛の文学。愛の痕跡を描くのだ。それは夫婦の問題にこだわり、家族の問題にこだわり、性への憧れにこだわり、マイホーム建設にこだわり、しかし、それを全て喜劇の形に読みかえた。戦後日本、日本近代という沸騰する時間のなかに汗するゆえにそれを全て悲劇の影絵として、喜劇のグロテスクとして描いた作家、その全容がいま全十巻に顕現する。